

議会報告会・意見交換会記録（第7回）

1 日 時 平成29年5月17日(水) 午後 7時00分 開会

2 場 所 妙高高原メッセ

3 出席議員 11名

議 長	関 根 正 明
広報広聴委員長	横 尾 祐 子
総務文教委員	佐 藤 栄 一
総務文教委員	村 越 洋 一
建設厚生委員長	渡 辺 幹 衛
建設厚生委員	木 浦 敏 明

産業経済委員	高 田 保 則
議 員	岩 崎 芳 昭
”	山 川 香 一
”	八 木 清 美
”	堀 川 義 徳

4 欠席議員 1名

議 員	阿 部 幸 夫
-----	---------

5 市民出席者 14名

6 事務局員 2名

局 長	岩 澤 正 明
-----	---------

主 事	齊 木 直 樹
-----	---------

7 件 名

議会報告会・意見交換会

1. 開 会
2. 開会あいさつ
3. 3月定例会の委員会審査報告・質疑
 - (1) 総務文教委員会
 - (2) 建設厚生委員会
 - (3) 産業経済委員会
4. 意見交換 「観光と地域振興について」
5. 閉会あいさつ
6. 閉 会

1. 開 会

○司会（木浦敏明） 今日、本当に大勢の皆さんからお集まりをいただきまして、ありがとうございます。それでは本日は大変お忙しい中、大変ちょっと寒い中大勢の皆さまからお集まりをいただきました。誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、私はですねまだ1期ほんのこの間議員になったばかりの木浦敏明と申します。不慣れではございますが、前へ前へと進めていきたいと思っておりますので、どうぞ御協力よろしくお願ひします。

妙高市議会では、平成27年3月に制定された議会基本条例に基づきまして、開かれた議会を推進する、その一つの取り組みといたしまして議会報告会・意見交換会を毎年開催しておりますところでございます。今年は、5月の

15日から17日、本日が最終日でございますが、17日にかけて妙高地域、新井斐太地区、妙高原地域と3地域で開催しております。本日は、担当議員6名でございますが、1名は欠席でございます。本日は5名ということで運営補助として、また5名で進めさせていただきたいと思っておりますので皆さんどうぞよろしくお願いいたします。それでは担当議員の5名の方ですね。私も含まれていますので、こちらの4名の方から一人ずつ所属委員会と氏名ということで自己紹介をお願いしたいと思います。

○総務文教委員（佐藤栄一） 皆さん、どうもこんばんは。総務文教委員会の佐藤栄一でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○総務文教委員（村越洋一） 皆さん、こんばんは。同じく総務文教委員会の村越洋一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○建設厚生委員長（渡辺幹衛） こんばんは。建設厚生委員会の渡辺幹衛です。よろしくお願いいたします。

○産業経済委員（高田保則） いつもお世話様です。産業経済委員会の高田保則です。よろしくお願いいたします。

○司会（木浦敏明） この議会報告会、意見交換会につきましては後日会議録を作成することを予定しております。参加者の皆さんにはですね、個人名は公開されませんが、質問や意見、意見交換会における意見についてはですね、皆さんや議員の発言につきまして、会議録としてホームページにて公開をさせていただきますので、予めご了承をお願いしたいと思います。また、質疑や意見交換会での発言される場合は、最初にお住いの地区名とお名前を述べてからですね、発言をいただきますようよろしくお願いいたします。また、この会が終わりましたら、お手元の資料があるかと思いますが、アンケート用紙のほうにですねご記入をいただいて、アンケートの御協力をよろしくお願いいたします。では、只今から議会報告会・意見交換会を開会いたします。お手元に配布させていただきますレジメに沿って進めさせていただきます。まず最初に、関根議長より御挨拶を申し上げます。議長よろしくお願いいたします。

2. 開会あいさつ

○議長（関根正明） こんばんは。ただいま御紹介にあずかりました、妙高市議会議長の関根と申します。本日は大変忙しい中、多数の皆様にご出席いただきまして、ありがとうございます。また、日頃より当議会に対しまして、御指導、御協力をいただいた上、温かく見守っていただきまして、心より御礼を申し上げます。私のほうから議会報告会・意見交換会の開催の趣旨、目的や議会基本条例の制定の理念等を話させていただきます。まず、議会基本条例とは議会と市長、執行機関の関係、議会と市民との関係、そして議員同士の関係をルール化し、議会と議員との役割と責任を定めた議会の憲法、最高規範であります。基本条例の目的の一つに議会や議員の権限の拡大のためではなく、市民自治の拡大を図ることが挙げられております。そのためには、情報の公開と市民参加の確保が重要になってまいります。本日の会もこの一環として、開催させていただいております。まちづくりの政策決定過程への市民参加が重要でありますので、市民の皆様のご貴重な御意見を議会基本条例の前文にあるように最良の妙高市に導くため、議会として政策提言に役立てていく所存であります。ぜひ皆さんの忌憚のない御意見をお聞かせいただければ幸いです。続いて、3月定例会に上程された29年度予算の概要について紹介させていただきます。平成29年度は総合計画、総合戦略の3年目として目標年次である平成31年度までに残された3年間でこれまで以上に各種施策を着実に実行し、目標達成していかなければならない年であり、これまでの成果を評価分析し、これに対応できる行政経営につくり変えていくための一年目としております。妙高市が進むべき方向性を見極めながら、5つの重点プロジェクトを中心とした実効性の高い施策を展開し、行政経営に関わる全ての皆様と協働により未来を見据えたまちづくりを進めようとしております。その方針の一番目として、若者の希望を叶

える支援の充実。方針2といたしまして、国際観光リゾート、新潟妙高はね馬国体を生かした、交流人口の拡大。方針3として、『健康寿命目指せ！元気100歳』運動の推進。方針4として、地域協働のまちづくりの推進、方針5として、未来を支える地域基盤の整備を挙げ、予算は一般会計で204億6000万円、国民健康保険特別会計など特別会計で91億1000万円、水道事業会計など公営企業会計で61億8000万円、合計で357億6000万円で今年度の事業を推進してまいります。詳細については、後ほど各委員会のほうから報告がありますのでお聞きいただければ幸いです。また、皆様の心配されている財政状況については、日本経済新聞社の全国都市財政年報によれば、全国790都市、63特別区の平成27年度の決算において、当市の義務的経費比率は33.66%で30位、実質収支比率は16.3%で9位、経常収支比率は64.4%で1位となるなど重要な財政指数の面からみても、極めて良好な状態が保たれております。最後に本日お集まりの皆様の御健勝、御活躍を祈念し、あわせて今後の御指導と御協力をお願いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

[拍手]

○司会（木浦敏明） ありがとうございます。本日は議会と市民の皆様で、妙高市をより良くしよう、そういう思いで開催しております。ではまず始めに、3月定例会の委員会審査につきまして御報告申し上げます。5月1日発行の議会だよりと、受付で配布いたしました3月定例会等における主な審査項目を資料として報告いたします。お持ちでない方がいらっしゃいましたらお申し出ください。いらっしゃらないでしょうか。

3. 3月定例会の委員会審査報告・質疑

(1) 総務文教委員会

○司会（木浦敏明） では初めに総務文教委員会からお願いいたします。

○総務文教委員（佐藤栄一） 総務文教委員会の佐藤でございます。今日3日目ということですが、今日が最高的人数となりましたことを本当にうれしく思っております。ありがとうございます。私のほうから委員会での3月議会を中心とした審査の状況を報告させていただきたいと思っております。着座にて失礼させていただきます。

お手元に議会だよりの5ページをご覧くださいと思います。一番最初に消防団員の不足と手当の改善の質疑が掲載されております。課長答弁のとおり、団員の報酬を引き上げる方向で検討することとなりました。委員会の中では消防団員の充足率は86.88%であり、火災時では他の分団からの応援で消火活動には支障なかったとのことです。また、平日日中の消防力の強化に向け、特別消防団員が現在22人。消防団応援事業所が33事業所となっているとの報告がなされました。続いて、2段目に妙高ゆかりの文化人歌碑建立の件ですが、課長答弁のとおり、与謝野晶子が妙高を詠ったのが80首あり、池の平での句が多いこともあり歴史文化基本構想の先行的な取り組みとして、いもり池周辺に歌碑を建立したいという計画です。予算額は200万円です。次にその隣の平成28年度一般会計補正予算第8号の中の妙高山麓ゆめ基金ですが、おかげさまで寄付が多くなり積立金を増やすものです。今回は、1300万円の増額補正を行うもので28年度の寄付総額は6300万円となりました。2月末時点では2293件の寄付があり、寄付された方々は主に都会からが多い状況にあります。平成29年度では寄付金額を7000万円計上し、寄付者への謝礼、返戻品の関係ですが、それに約3割の2100万円を計上しているところでございます。次に6ページをご覧ください。議案第32号、33号の動産の取得の件ですが、上段に平成30年2月25日から28日に開催される、第73回国民体育大会冬季スキー競技会新潟妙高はね馬国体に関する議案でございます。これは記載のとおり国体で使用するスキー競技用計時システムとクロカン会場整備用の圧雪車一台の取得、購入ですね、関することです。委員会の中の質疑ではスキー競技用計時システムの耐用年数についてはと言う質問が出まして、部品供給との関係もあり、10年は使えるとのことでありました。契約金額は2700万円です。契約先はセイコータイ

ムシステム株式会社信越営業所であります。また、圧雪車は国体では3台で対応するとのこと。今回の1台の契約金額は3990万円ということです。契約先は株式会社橋詰商会妙高営業所ということになっております。次に、お手元に配布しました3月定例会等における審査項目の総務文教委員会の中より報告させていただきます。妙高高原地域に関するものは、⑩の市内でのスポーツ合宿と新妙高高原体育館ですので、この件について少し報告を申し上げます。まず、スポーツ合宿ですが、主な施設の利用状況について質疑がありました。2月末時点では利用総数は3万7593人。妙高高原地域は2万6925人、妙高地域は6756人、新井地域は4542人との答弁でございました。また、29年度において新規に合宿誘致パンフレットを作成して、大学、実業団、合宿を扱っている旅行エージェントへの営業訪問の際のPRツールとして使ってきたいとの答弁でございました。また、この4月30日に竣工しました妙高高原体育館ほっとアリーナ妙高高原は、総事業費が24億2000万円の立派な施設が完成いたしました。昨年12月議会において、体育館の指定管理者の議決を行いました。6件の応募の中から指定管理者からスポーツメディア株式会社となりました。施設の維持管理費は約7000万円で、その内指定管理に係るのは6500万円。市が直接負担する消防設備など法定点検等の費用が500万円ということでございました。以上簡単ですが、総務文教委員会の委員会報告とさせていただきます。ありがとうございました。

(2) 建設厚生委員会

○司会（木浦敏明） 続きまして、建設厚生委員会よりお願いいたします。

○建設厚生委員長（渡辺幹衛） 建設厚生委員会の報告をいたします。渡辺幹衛です。3月定例会における建設厚生委員会における審査の内容につきましては、お手元の議会だよりを補完する報告をいたしたいと思っております。委員会では補正予算や条例の審査も行いましたが、一般会計と特別会計を合わせました、平成29年度予算関連のみを報告いたします。本日の会場にお配りしました、審査報告の一覧表の通し番号をご参照ください。限られた時間ですのでその中から選んで報告いたします。それでは座って報告させていただきます。まず、建設課関連ですが、一番に除雪対策事業費が載っています。これについて質疑がありました。とりわけ、除雪車の出動基準について、昨年の意見交換、この場でも多くの質問がありました。新潟県や上越市の基準が10センチなのに合併後の妙高市はなぜ15センチにしてしまったのかというものでした。これらの御意見をもとに、昨年9月議会では、12月議会でも質疑を重ねました。当局の答弁は合併協議会における制度のすり合わせであり、降雪期に実態を検証したいというものでした。3月議会では除雪対策事業費が28年度に比べて大幅増加しました。これにより、より実情に合った予算が計上されました。いつまでも出動の数字15センチ、10センチにこだわるよりも実質的な市民サービス向上をどう実現するかという立場で審議しました。出動時間や除排雪状況なども併せて、支障が生じましたら、除雪支部長や議員に声をお寄せください。次に、同じく除雪関係ですけど、除雪後、特に交差点での苦情が多く出されました。国道も21時以降信号機が点滅になるところがあり、交差点が見ずらくて危険だと、路肩除雪の点検と対応はどのようかという質問も出されました。国道道の交差点の除雪処理については、今後の検討課題であるとの答弁がありました。続いて、福祉介護課関連では、今後の福祉施設整備計画について質疑がなされました。答弁は第7期高齢者福祉計画、介護保険事業計画で検討する。認知症高齢者グループホーム等の小規模施設については、整備する必要があると考えるが、大規模施設はそこまで必要ではないと考えているとの答弁でした。この4月にも新しく新井地域小出雲地内に障害者サポートセンターや介護支援施設がオープンしました。これらの整備拡充は今の制度では介護保険料に直接反映する仕組みになっております。現在第6期における保険料の基準月額が5950円ですが、予想では1000円以上の引き上げを検討するのではないかと心配もあります。健康保険課関連について申し上げます。妙高高原体育館がオープンしました。健康ツアーの効果についての質問に対し、28年度実績では参加者全員の体重の減少、

腹囲、お腹の周りですね。体脂肪、BMI など6項目において有利な改善が認められているとの答弁がありました。次に、13番目にありますクアオルトの関係でも質問がありました。クアオルト、この協議会の研究大会が開催される予定です。テーマは「地域資源を活かし、住民も来訪者も健康になれるまちづくり」内容は基調講演、分科会、パネルディスカッション、妙高型クアオルト体験等であるとの答弁がありました。関心の持つ15番目には、けいなん総合病院の入院病床の状況についての質問がありました。今回50床の休眠、閉鎖です。閉鎖は常勤医師数が12名という中で、医師の負担軽減のため休眠させるとのことである。休眠はいつでも再開できるもので、医師確保に努め一日も早く再開したいとの説明を受けているという答弁でした。しかし、最近厚生連病院の解散が相次いでいます。今後行政の立場や議会、市民の立場でどのような取り組みが出来るかも検討課題であります。環境生活課関連で申し上げます。妙高高原地域で環境省の有害鳥獣10カ年半減計画というものが示されているわけですが、平成35年までにニホンシカ、イノシシについては半減させ、ニホンザルについては加害度の状況に応じて半減したい、との関連で質問がありました。とりわけ大型獣はブッシュが茂らない見通しの良い冬期間に駆除するのがいいんじゃないかということで、銃の免許取得などについても市も支援しているんですけど、その駆除に行くのに、銃も持たずに、鈴を鳴らしていくという市民の声があった、それを紹介しました。これで半減できるのかという不安の声を聞きました。先進地の調査では特にイノシシなんかの駆除につきましては、今のうちに駆除しないと大変になる。今妙高市では年間20〜30頭なんですけど、福岡へいった時は、2000、3000そういう数。まるっきり桁が違います。非常に大変な思いをしています。妙高市の皆さんは一日も早くしないと、大変なことになりますよというお話を聞いてまいりました。それで、今の取り組みでは不十分ではないかという指摘もしたんですが、今後は捕獲を強化しイノシシについては来年度も冬期間に集中して重点的に捕獲し、数を減らす体制整備を図るとの答弁がありました。以上簡単ですが、建設厚生委員会の審議内容を報告いたしました。

(3) 産業経済委員会

○司会（木浦敏明） 最後に産業経済委員会よりお願いいたします。

○産業経済員（高田保則） 産業経済委員会の内容を掻い摘んでお知らせしたいと思います。着座でお願いいたします。

産業経済委員会の所管はですね、農林課、それから、観光商工課、企業局、ガス、水道、下水道、簡易水道でございます。その中で、一つずつ掻い摘んでお知らせをしたいと思います。こちらの議会だよりも詳しく出ておりますし、たぶん皆さんインターネットでも議会の本会議も委員会も中継しておりますので、そちらをご覧になった方が詳しいかなと思いますけども、一応農林課、観光商工課、ガス上下水道局、一つずつお知らせをいたします。農林課ではですね、今非常に取り組みを一生懸命にやっている2番目の都市と農村交流推進事業。これは俗にいう、昔から言われるグリーンツーリズムの事業でございます。今、農林課、市もそうなんですけども、農林課を挙げて取り組みをしているということでございます。このグリーンツーリズムというのは私ちょっと、古い話ですけどもこれはたしか、昭和48年、49年頃が農林省で農家民宿というのを確か始めて、初めて取り組みしたのがこの杉野沢地区だというふうに私記憶しているんですけど、その辺がずっと農村の都市との交流ということで続いているということで、今いわゆるその教育面でも文科省でも非常に力を入れているということでございます。当市でも、66軒の受け入れ先がありまして、毎年教育体験旅行を受け入れしているということでございます。それから、観光商工課のほうですけども、最近皆さんも珍しいってうか、新しい言葉だと思いますがDMOという、わかったような、わからないような言葉ですけども、いわゆる観光推進協議会というものが昨年妙高市のほうで出来ました。これは観光協会代わる組織ということと考えていただければ簡単かと思います。DMOというのはご存じのとおり、国でも2020年に外国のお客さんを4000万人という目標を立てて、いろいろやっておりますが、それについて各地方でも受け入

れをしていくと。そういう組織を作りなさいというような指導もありましてできたわけでございますけども。これは今まで観光というのは、「観光業」ということで位置づけられていたんですが、国としては「観光産業」として位置づけをしたいということで、産業ですから宿泊とかそういう関係じゃなくて、農業関係もそうですし、商工関係、工業関係もそうですし、ありとあらゆる組織を結集して地域の産業ということで盛り立てて行けというようなことで、昨年発足して、今着々といろいろな取り組みをしているということでございます。ですから今までの観光協会は観光推進協議会の中に位置づけをしているということでございます。ただし、今まで地区観光協会がありますけどもそれはそれとして、依然として活動を続けてもらいたいというような話でございました。それから、ガス上下水道局ですけども、水道事業会計で実は杉野沢の浄水場はですね、どんなふうかという質問ありまして、杉野沢浄水場は昭和44年に設置されたということで、もう50年近い施設であります。そういうことで非常に老朽化が進んで水道の供給について極端な支障はないですが、いろいろ対策が大変だということでございます。今新井で1箇所浄水場建設しているわけですけども、それが終わり次第早めに杉野沢の浄水場も改築したいというようなお話でございます。いずれにしても、命の水を供給していただくわけですので、その辺も妙高高原にとっては非常に重要な問題かなというふうに思います。後の細かいことはこの議会だより等でご覧いただきたいというふうに思います。以上で産業経済委員会の報告を終わります。

(報告に対する質問)

○司会(木浦敏明) 以上で3月定例会について、報告を終わりたいと思います。それでは今報告した内容について御質問がありましたらお受けしたいと思います。マイクを通して、お住いの地区とお名前を述べてから発言をお願いしたいと思います。御質問のある方は挙手をお願いいたします。

[「どこからでもいいの」と呼ぶ者あり。]

○司会(木浦敏明) 委員会はどちらでも結構でございます。

○市内男性A じゃあ、お願いします。地元〇〇地区の〇〇と申します。水道料金についてなんですが、ここに簡易水道云々で形で書いてあるんですが、合併してから11年経つんですが、当初妙高高原と新井地区では水道に格段の料金の格差があったんですね。数年ずっと続いていました。現在の状況はどういう形になってるんか。あの妙高高原では、これ長く負担料が多かったわけですね。この辺のことについてお聞きしたいと思います。

○司会(木浦敏明) それでは産業経済委員会のほうですかね。よろしくお願いします。

○産業経済委員(高田保則) この問題については、私ごとでございますけども、私が当選して以来ずっと取り上げてきた問題で、何で妙高高原地域と新井地域と差があるのか、水道だけじゃなくてガスも同じ状況です。これはですね、どうして違うのかということでは、はっきりとは当局側も示しておりません。私も何回か質問して格差はおかしいってことでやりましたが、若干当初の合併時よりも格差が半分くらいに縮まったのは事実なんです。それ以降はなかなか縮まっていないというようなのが現状です。簡易水道もですね、今あの私らほうの高原地域は上水道ということじゃなくて、簡易水道を各地区でやってるわけですけども、それを今集約して今度、上水道事業に合併しようということで今準備をしている最中でございます。その辺のですね、料金はどうなるかってことはまだ決定しておりません。現在のところそんなところなんです。

○市内男性A 関連しますが、当初合併当時は差別化しないというのが、約束事があったと思うんですが、それがずっと差別化して今聞くとまだ料金の格差があったんですね。妙高高原ではずっと多く払ってるんですね。だからこの辺は是正しないと合併の意味はないじゃないですか。確かに妙高高原には〇〇〇(不明)いろいろがあったのも事実でしょうが、だからと言って差別化したってね、これやっぱり疑問点が残ります。まあ一つ御奮闘をお願いします

す。

○産業経済委員（高田保則） 今、合併当時その辺、新市建設計画の中で料金を統一するっていうたしか申し合わせでなっていますね。そういうことでしたんですが、依然として格差があるということで、私もこれから一生懸命努力していきたいと思います。

○市内男性A すみません。もう一つお願いします。妙高高原体育館の温水プール出来て大変ありがたいんですが、広報では前年度では結局市がトレッキングなどの行事やっていたのが業者に移管されたんですが、そのためかどうか、広報でそのいつから何々をやるというそういう成りたちが全然書いてなかったんですよ。だから、ある人に聞くといつから始まったのって。結局、周知が徹底されていないというそういう面があります。それが一つ。それから施設内なんですけど、温水プールの中にある階段があるんですけど、この運動によって階段がちょっと邪魔、ぶつかってね、ちょっと危ない面が一つあるのと、それからボイラーですか。男子の出入り口のとこのボイラー、大変高温になって大変熱い思いを私したんですが、そういう欠陥があるような気がするんで、その辺一つボイラーの問題と階段の問題ですか、ちょっと検討お願いできればと思います。

○司会（木浦敏明） それでは総務文教委員会よろしくをお願いします。

○総務文教委員（佐藤栄一） 先ほど説明にもお話しさせていただきましたが、オープンしたのが4月30日ということで私どももまだ稼働してからのものはまだ見させてもらっていないというような状況でございます。総務文教委員会としましては6月30日の日に委員会として体育館の調査に入りたいということで、今段取りをしてところです。今ほどいただきました階段の件、ボイラーの件も一緒にその時に私ども検証させていただきたいというふうに思っています。それから広報の件ですが、私もその辺は気が付かなかったんですが、今日のタイムスには結構な方々が集まってやってらっしゃるといのが載っていました。その辺につきましても改めて検証させていただきたいと思いません。よろしくをお願いします。

○司会（木浦敏明） よろしいでしょうか。では、ほかにございませんでしょうか。どうぞ。

○市内男性B ○○地区の○○と申します。基本的なことを私勉強不足なんでお聞きしたいんですけども。まず、最初に議長さんが日経で妙高市の財務状況ですかね、かなりの全国の市町村に比べるとトップとか上位とかにいるわけですけども、ちょっと本当かなということが信じられないですけども、その辺のことを一つ聞きたいのと、それから、インバウンドでね日本全国かなり増えているんですけども、妙高市の場合だとだいたいどれくらい増えているのか、その辺もし分かれば教えていただきたいと思います。それから農林課のですね、都市と農村交流推進事業のですね、そういう事業されているんですけども、実際その交流人口が増えているのかその辺わかる範囲内で教えていただければありがたいんですけども。以上です。

○司会（木浦敏明） それでは一つずつお答えをいただきたいと思います。まず市の財務状況ということなんで、議長のほうからお願いできますでしょうか。

○議長（関根正明） 財務状況、先ほど3種類ほど全国に比べてっていうことで、広報のほうにもそういうふうに乗っておりますので、この数字は確かなものであります。一応確かに今、裕福かどうかという判断の中ではちょっとあれですけど、あくまでも指標なんで、指標の中においては、かなり優秀なところになっております。そのくらいしか今はっきりわからないんですけど。あと、新井リゾートの負債があったものが入ってきたっていう面も反映していると思いますけど。以上です。

○司会（木浦敏明） 続きまして、インバウンドの状況についてわかる範囲でということですよ。産業経済委員会よろしくをお願いします。

○産業経済委員（高田保則） 私のほうからわかる範囲でお答えしたいと思います。インバウンド、先ほど2020年4000

万人ということで国で目標立てているわけなんですけども、残念ながらですね、新潟県、長く苦戦しております。インバウンド。妙高市も右へ倣えです。たしか27年度だと思んですが、外国人の受け入れの人数として5850人というそういうデータがあります。宿泊数になりますと3万ちょっとの3万人泊ですかね。そういうような形で意外とこの妙高市は少ないんです。ただ、赤倉についてですね、オーストラリアの方たちを中心として、宿の買取、それにつれて同じ国の方の行くのが多いんですが、全体的にはそんなに多くないということです。それと今のインバウンドのカウントの仕方なんですけども、いろいろカウントの仕方があって、どれが本当なのか実はわからないんです。正直私も。今妙高市でカウントしているのは「長野ー新潟スノーリゾートアライアンス」というところでデータを取ったところがそういう発表してますけども。この間、確か新聞出たのは上越妙高駅の乗降客でどうのこうのというのもありましたし、両方に入っていないような個人のお客さんも随分来てるんですよ。個人的なのが。ですから実際問題としてどれが本当の数字かっていうのはわからないんですが、総体的には一時よりも多くなりまして、地域経済にも貢献していると思います。

○司会（木浦敏明） 関連して交流人口についてもわかる範囲でということですよ。よろしくお願いします。

○産業経済委員（高田保則） 都市と農村交流推進事業についてですが、先ほど私の記憶では、たしか昭和48年か49年頃からの農家民宿が続いて、現在のグリーンツーリズムという名前を変えているような気もしてますけども。今全体的に妙高市でそれに受け入れをしている方は、または、協力している方は杉野沢で18軒、矢代地区で23軒、大鹿地区7軒ということで全部で表面的には66軒、都市と農村交流事業のいわゆるグリーンツーリズムの受け入れ態勢が整ってきているということでございます。これもですね、市で把握しているのは昨年約240名の教育体験、それから親子体験ということで、御町内で宿泊をしているということでございます。なかなか、今国でも教育体験ということでグリーンツーリズムを推進しているわけなんですけども、なかなか受け入れ体制という問題、また、どういう農業体験をするかという問題も各地区によって違いますもんですから、特に妙高市の場合はほとんど農業体験の水田体験とか、園芸のほうはあんまり少ないもんですから、そういうようなことで平場と比べますと、若干不利な点もあるかなと思います。いずれにしましても、国の方針がそういうことでたしか小学5年生対象だと思うんですがその辺を積極的に農業体験やっておりますけども、これからいろんなことで体験する学校が多くなるんじゃないかと思ったり、当市としてもそれを期待しているところでございます。

〔「ありがとうございました」と呼ぶ者あり〕

○司会（木浦敏明） ほかにございませんでしょうか。よろしいですか。ないようでございますので、それでは議会報告に対する質疑は、ここで一旦閉じさせていただきます。

4. 意見交換会 「観光と地域振興について」

○司会（木浦敏明） 続きまして、意見交換会をさせていただきたいと思っております。今回はですね、会場ごとにテーマを設定させていただきました。こちらの会場のテーマはそこに張り出されていますように「観光と地域振興について」でございます。日ごろ思っていること、御意見などございましたら挙手をお願いしたいと思います。御意見ございませんでしょうか。どうぞ。

○市内男性C ○○地区から参りました、○○でございます。今日初めて参加させていただくんですが、このように市民との対話の試みを設けていただいている議会の姿勢に対して、非常に高く評価させていただきます。また日ごろ皆さん大変な市民生活向上のためにご努力いただいている皆様方に敬意を表します。私はですね、終活を何とかふるさとのために何とか役立てたらというそういう方向付けで終活を行っているもので、今1500平米くらいの荒れた畑にですね10種類くらいの山菜を植えまして、一人でやっております。そして、妙高のこれからの名産品になるよ

うな付加価値を与えた山菜の漬物あたりを夢に描いております。今日はですね、正直なところ全国津々浦々そんなんですが、少子高齢化でですね、人間も絶滅危惧種になるような非常に厳しい時代性になりました。もちろん妙高市もそうでございます。一番被害を被るのが若い人たちでございます。この人たちにですね、にぎわいのあるまちをできればバトンタッチしたいとそういう気持ちからですね、私たちは今ですね、いがみ合っではいけないと。市民、行政、議会が一つになってやっぱり熱くなってですね、燃えるものも必要ではないかと思えます。それで、今日申し上げたいのはですね、2年半くらい前に私がですね、ちょうど市長選挙の前でございましたか、書いたもので、ちょっと中が怪しい面もあるかもしれませんが、読ませてもらいますが、これは、佐藤栄一議員の御膝元の新井の活性化策についてなんです。私は一番妙高市でですね、新井市街がですね観光要素があるんじゃないかと思っております。その観点から読ませてもらいます。早口に読みますんで。

妙高市の要である新井のまちを賑やかにし、次には高原地域を、そして全市に渡るにぎわいを創出する足元発掘プランの資料です。全国から津々浦々から年間300万人もの人が集まる道の駅あるいは、妙高市を全国に発信する媒体として最高の舞台です。誘客のための広告塔として充実させ、まちおこし隊と密接に連携を図ります。当面の目標は300万人の1割の30万人の客を北国街道に引き付けることです。足元の固有の史跡、固有の食と土産品。そして、越後の人情溢れるおもてなしによる観光です。足元に眠る、新井にしかない文化遺産を復元し、核となる施設を創設し、情報発信に努めます。心にふるさとを求めている県人会の方々にも、最大限のロコミ宣伝をお願いします。まず、観光コースといたしまして、新井別院より歩いて加茂神社までの間、北国街道を復元させます。そして、以下に紹介する観光の目玉となる施設、ほかにもあるでございますが、巡る観光ルートを定める各施設の全面協力を取り付けます。歩いて新井別院、君の井蔵元、おもてなし館。これは、いきいきプラザを営業スペースとしたいと思います。儲ける場所にしたいと思います。客へのおもてなしスペース、土産物売り場、食事処を設け、お客の心を掴むサービスを提供します。次に、白山神社、森蘭齋、岡田清和美術館。これは新しく創設してもらいたいです。妙高の宝、岡田清和さんこのままにしておきますと永遠に消えてしまいます。また、最も妙高市の地元から出られました、素晴らしい森蘭齋先生の作品をですね、市のほうも力を一つにしてですね、集めて、やっぱり妙高市としましては、ここでそういう核となる館をぜひ一つ造っていただきたい。まあ、夢のような話でございますが。入館料は500円といたします。次に、小出雲にわかさや菓子舗とございます。これは150年も続く老舗の和菓子屋さんでございます。それから、もうなくなりましたか、小梅屋さんの米菓、雪花最中。これもですね、素晴らしい商品価値があったと思います。これも復活を目指したいと思います。それから次に照光寺。すいませんですね。ちょっと長くなって。照光寺をおいて、加茂神社です。新井別院は本願寺ジュウロクセイイシノショウニン（詳細不明）の命により、頸南地方の末寺や門徒を統括するために創設されました。境内には親鸞の妻、恵信尼の御堂や新井出身の江戸末期の画家、森蘭齋の墓があります。やっぱり素晴らしい神道を持つ浄土真宗の生みの親ですわね。これはやっぱり、大きな集客の誘客の目標になると思います。君の井蔵元、江戸時代末期より続く老舗であり、雪国では珍しい瓦屋根の風情は、酒造りの歴史を物語っています。三番、白山神社。本社は平安時代に河内の国より遷座したとの伝説のある名神社でございます。四番、森蘭齋、岡田清和美術館。市の資料館所蔵の名品も合わせ展示する。まちのにぎわいをリードする拠点施設で情報発信とともに、行政、地元、商店街と連携する。五番、わかさや本舗。先ほども申し上げましたけども、老舗の味を懸命に伝えてきた職人魂に、敬服をいたしております。照光寺。六番、上杉謙信の〇〇〇〇（聞き取り不明）に信濃の国より移転。大原の道因寺より文化財価値のある仏壇を導入しております。また市内には東の専念寺、西の照光寺と両寺は歴史も檀家も非常に素晴らしい古刹として有名でございます。七番目、加茂神社、別雷神（わけいかずちのかみ）を祭神とした、神社では市内で唯一の神社です。3500坪の境内に池を配し、名庭園がそのまま埋もれています。復元して、季節の花のショウブ、ツツジ、モ

ミジ等を植栽すれば、観光名園に生まれ変わる可能性が大です。各施設はそれぞれ、固有の在庫を所蔵しているので公開をお願いします。道の駅より観光客を北国街道に誘導するには、アクセスの導入路にあつと驚くような華やかさと、お客の注目する季節がほしいと思います。それには女性客、家族客、若者層を引き付ける、季節の花街道が適切と考えます。春はスイセン、夏はラベンダー、秋は信州のダリアがふさわしいと思います。今のダリアは、信州のダリアはバラやボタン、シャクナゲ、キクを連想させるほどの華やかさです。施設については観光客の人気スポットで一番人気は直売所でした。アクセス街道の…。

〔何事か言う者あり〕

○市内男性C　そういう意見もございまして、もうちょっとだけ、すみません。地場産の山菜、米、農産物、果物、花等をてんこ盛りにした直売所の開設です。また、北国街道沿いには、できることを各業界が出店をお願いします。北国街道筋で観光客買い物で落とすお金を低く見積もって、客単価 2000 円として、年間 6 億円が新井商店街に落ちることになります。またですね、その他のポイントとしまして、学芸員をリーダーとしたまちおこし。佐藤学芸員の卓越した専門知識と熱意ある行動は、市民に感動さえ与えています。特に、人脈、ネットワークの広がり是全国的です。学芸員をリーダーに地元商店街の若手を加え、そして、若手議員の皆さんとにぎわいの街創出プロジェクトチームを創り実働隊とします。山菜、キノコ、地場産の有機野菜、味濃く、香り高いを二次加工して付加価値を付けます。特に山菜は、市販品の約 10 倍の栄養価があると言われ、がん予防となる抗酸化物質も抜群に多いです。山菜の〇〇〇〇（聞き取り不明）を量産することによって、妙高市の特産品とする。特に杉野沢のイラクサ、正式名はミヤマイラクサ。非常に栄養価値がある、あらゆる食品に転嫁可能な植物です。また、小林一茶の愛用した野草で、滋養強壮効果の高いカノコソウ、これも非常に有望な植物であります。漬物工場の誘致、または各種漬物のノウハウの導入。迂回路となる北国街道は〇〇〇〇（聞き取り不明）も可能であり、道巡りには最適ですが歩道の整備が必要です。私は、もうこれで止めます。信州の小布施町。あれは 1 万 1000 人で年間 100 万人を越すお客が訪れている場所でございます。この大変な時代にやはり、やり方によってはですね、これだけのですね、私は観光要素としてですね、決して劣らないものを新井地区に見出しております。これはですね、議員の皆さんに、私のこれ別に要望もございません。市民のですね企画する例えば関山の文化財を語る会、これも昨年でもですね、借景の説明会が佐藤学芸員のもとにですね 2 回ほどありました。前回 1 回目が 40 人。2 回目が 80 人。2 回目に新井地区の議員さんが一人お見えになりました。やっぱり、皆さんがですね、市民のサポーターになっていただきたい。それで、雨の中で一生懸命汗を流している地元の文化財を語る会の人たちに御苦労の一言も言っていただきたい。そうするとですね、俄然やっぱりやる気にはなると思うんです。だから、その延長としまして、この間シュンヨウカイ（詳細不明）がありました。無料でですね、市民の方 90 歳以上の方もですね、こぞって文化ホールで頑張ってもらっています。これも医療費の削減に役立つわけですから、こういう会にもぜひね、議員の方も目を注いでいただきたい。それから…。

〔何事か言う者あり〕

○市内男性C　新井の民謡流しにもできたら議会でも一年くらい参加していただけないでしょうか。これは私の一市民の願いでございます。言った以上、私も精一杯協力したいと思います。どうも、長々とありがとうございました。

○司会（木浦敏明）　どうもありがとうございました。前段のプランについてはですね、議事録を起こしてから検討させていただきますと思いますがそんな形でよろしいでしょうか。では、そのようにさせていただきますと思います。

ほかに御意見ございませんでしょうか。どうぞよろしく申し上げます。

○市内男性D　〇〇地区の〇〇と申します。一言だけ。私も観光ということでもって方々行くときに事前にその天気予報調べていくんですけども、私が日ごろちょっと疑問に思ってるのがですね、妙高高原の天気予報ってのが探し

てもなかなか無いっていう。たぶん、東京のお客さんが妙高へ遊びに行きたいんだけど、今日は晴れてるのかなと思っても調べようがないというのが状況かと思います。私も不満に思ったんで、長野県のほう調べていますとですね、非常に細かく分かります。先日、市の職員さんにどうしてなんだって聞いたら、長野県は市町村合併しなかったから、自治体がたくさんあるから天気予報のサポートがいいんだという御意見だった。じゃあ、新潟県どうしたらいいんでしょう。大上越市、大妙高市だと妙高高原というところは出てこなくなっちゃうんです。これは何とか改善していただけないのかなということで、行政のほうにお話ししたら、行政の担当じゃないということでおっしゃられて、議会のほうにお願いしたらいいのかなと思って意見を述べさせていただきました。

○司会（木浦敏明） ありがとうございます。予想をはるかに超えた質問でありたいところでございますが、総務文教委員会ですらよろしいですか。

○総務文教委員（佐藤栄一） ありがとうございます。天気予報見ますと、妙高というふうに出ています。新井の人間にとって見ますと温度が低すぎる。高原の方にとってみれば高すぎるかもしれませんけど。どうも関山を中心とした天気予報になっている状況のようでございます。私としても、ほかの市の方が、新井の友達を見ると「雪降ったね」、「寒いだね」とよく言われるんですが、そんなことねえんですけどねという話をさせてもらってるとこあるんで、これはちょっと我々の所管と違ったとこあるんですが、きめ細かい天気予報にしてほしいという要望は私どもからも機会を見てやっていきたいなというふうに思います。本当に観光地にとっては、天気が一番勝負だと思ってますんで、その辺も一緒に細かい天気予報出るようお願いしていきたいと思っています。

○司会（木浦敏明） よろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。

皆さん方のこの妙高市にとってですね、花形の観光地、これは妙高高原でございます。そこにお住いの皆さん方からですね、いろんな意見を頂戴しながらですね、議会としてもですね、それに取り組んで行けるものがあればですね、積極的に取り組んでいきたいと、そんな思いで今日の議会報告会開催をさせていただいております。皆さんからどんどん、賑々しくですね御意見を頂戴したいところですがいかがでしょうか。

すみません。じゃあ、よろしくお願ひします。

○市内男性B すみません。あの基本的なことを教えてもらいたいですけども、観光っていうんですけども、そもそもですね、妙高に観光客ってどれくらい来ているもんなんですか。すみません。それと、例えばメインになる目玉になるのが冬だと思うんですけども、例えば道の駅とかですね、あるいはアパさんとか、冬のスキーもそうなんですけども、どの辺に重点的にお客さんが来ているのかですね、そういういっぱい来ている所は、どンドンどンドンそこをサポートして力強く推進していけばいいと思うんですけども、弱いところは切り捨ててもいいと思うんです。選択と集中で、強いところを伸ばしていくようなそういう政策をお願いしたいなと思います。教えていただければありがたいんですけど。

○司会（木浦敏明） ありがとうございます。それでは産業経済委員会、わかる範囲でよろしくお願ひします。

○産業経済委員（高田保則） 非常に難しい問題です。観光そのもの、じゃあ何が観光かって言われると、これっていう定義はないと思うんですが、私どもさっきもお話ししましたDMOの関係、観光業じゃなくて観光産業に格上げしたいということで市も取り組んでいるんですけども、それは自然的に外部から妙高市外からの人たちを呼び込んで経済的に妙高市を潤う、そういうのが一応観光だというふうに私は思って解釈してるんですけど、じゃあ経済的に効果、影響ない人は観光ではないのかという、それもまた違うんですけども。いずれにしても観光というものをメインに新井地域の観光スポットのお話しもしていただきましたけども、この妙高高原地域にもですね、中心になるだろうという妙高戸隠連山国立公園、これ昨年ですね、32番目ですかね、国立公園誕生したんですが、その魅力をいかに発信して、外部のお客さん、いわゆる交流人口を増やして経済的に潤うかというのが一つの観光だとい

うふうに思います。そんなことで、もちろん行政だけじゃなくて、そこに住んでる方、営業されてる方いろんな人たちが協力して妙高市っていう観光を盛り上げていくのが一番大事じゃないかなっていうふうには思うんです。そういうことで、DMOというのはあらゆる産業の人たちが観光を推進するというので取り組みしてるのがDMOと、俗にいうこっちは「妙高市観光推進協議会」という名前になってますけども、そんなことでやっているのが現状なんです。今、入込み客ということですけども、妙高市、道の駅は300万人と細かいエリアだけで300万人ということですけども、妙高市観光として訪れる方というのは120万人くらいですかね。年間で。それが、どのくらい経済効果があるかってのは、これちょっと難しい問題なんです。というのは宿泊がどのくらいあるかっていうのも、やはり個人情報等の問題、宿のやり方で正確な情報がないし、それによって市の何となく対策を取ってるわけですけども、ピンポイントで対策が取れるってのが確実な情報がないってのが難しいんですけども、なかなか現在はそこまで行ってないということでございます。ちょっと話違いますが、インバウンドの話ですけど、今度飛行場で国内で入国した方の足取りをGPSを使ってカウントするというようなシステムができたようでございますが、そんなことができれば確実にどの方面からどこへ何人ぐらいというのが把握できるかなというふうに思うんですけども。なかなか現状ですね、インバウンドのデータの取り方いろいろありますんでね、国内の観光客もやっぱり同じなんです。ですから、なかなか同じ、正確に人数を把握するというのが今のところちょっと難しい状況ですね。これは観光産業という地域が全部そこに協力するという立場があれば、またそれも一つの大きな確実な情報源になると思うんですが、今のところはまだちょっと何%か何十%かは流動的なデータだというふうに私どもも思っています。

○司会（木浦敏明） では、分布について議長のほうから補足でよろしくをお願いします。

○議長（関根正明） すみません、今、誘客数というか、来てる観光客というのは妙高高原の単位で平成2年、3年のピーク時が400万人という統計が出てたんですね。実際そのうちのうち300万人がスキー客で、現在スキー客がだいたい80万人くらいしか来ておりませんので、4分の1ぐらいになっております。あと、高田議員から言われたように統計取るのに非常に大変な面がかなりあって、取り方も車一台につき何人とかってそういう捉え方をしておりますので、正確な数字が出ていない面もありますが、一番問題が何人泊まったかってのが一番問題になってくると思うんで、その辺がなかなか旅館のほうから正確な数字が出てこないっていうのが現状。税金とかそういう面もあるんでしょうけど、それが一番問題なんです。一番今インバウンドの中で、一番確かな数字と言いますか。長野-新潟スノーリゾートアライアンスという白馬と山ノ内と野沢温泉と妙高市と県、国それからJRがスノーアライアンスというのをつくってるんですけど、そこがエージェンツ的な立場で送客してるんですが、本年度の誘客実績が3万2214人泊ですね。対前年比102.3%。これが実態というか正確な数字であります。それとその他に、インターネットのブッキングドットコムというのもかなり入り込んでいますんで、その辺も結構見たい目には入っているんですが、正確な数字が観光課においても掴めないというのが実情で、たぶんそれも入れれば4万人泊は超えているんじゃないかなと思っております。以上ですが、雑駁ですが今までの経緯を説明させていただきました。

○産業経済委員（高田保則） データの取り方ってのは、各組織があるものですから、これが本当にいいのかっていうのが、今私も先ほど申し上げましたけども、今私ども妙高市で把握してるのはそれをメインにしてやっていると議長からの話もありました。ただ、その他にも組織がありますんで、そこに乗っからないお客さんもいるわけですから、でもどこを中心にやるかって言うと、スノーアライアンスのデータに基づいて市は対策を立てているというのが現状だと思います。

〔「はい、わかりました」と呼ぶ者あり〕

○司会（木浦敏明） ほかにどうでしょうか。大分いい時間になってまいりましたんで、あと一つ質問をお受けしたい

と思いますが、いかがでしょうか。

はい。どうぞ、よろしくお願いします。

○市内男性E ○○地区の○○と申します。よろしくお願いします。私どもはここにあるように地域振興ということで、私たち地域もみんな協力して、いろいろ知恵出し合ってやっているところですが、杉野沢地区においては妙高市からの指定管理という契約の中で、管理業務とまた収益業務に当たることを今ざっと考えても7つか8つくらい指定管理を受けております。その中で管理業務については、地域の中でいろいろ相談してくとスムーズにしっかりやってるんじゃないかなと私は考えております。ここで一番問題になりますのは収益事業に関してですが、これは市との委託契約の中で再委託は禁止だと、ということが絶対的にあるものですが、収益事業と言いますと広い意見を入れた中で、また、いろいろなそういう人たちの協力ももらいながらやってかないといけないので、地域だけに特定するとなかなか運営が厳しい場合があります。また、議員の皆さんも御存知のとおり、そばの花という交流促進施設を運営しているんですが、これについてもいろんな状況を過去に模索してやってきましたが、今ここにきて地域に訪れる観光客も少なくなってきたり、いろんな問題からそばの花の運営ってのは、はっきり言って挫折しております。これらについても再委託先だとかいろいろな知恵の中でも情報あつたりするんですが、完全な委託ということになると、やはり契約違反だということから進展しないような状況もあります。また、こういう収益事業になりますと、私たちも非常に難儀しているんですが、やはり完全委託ということではないんですが、当然市とか議会の承認を得なきゃいけないことですが、やはりそういう委託先を探すことによって運営者がもうちょっと責任を持った運営をしてもらえるんじゃないかなというふうに思ってますんで、議会においても委託契約についても再度検討していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

○司会（木浦敏明） ありがとうございます。それでは最後の質問ですが。総務文教委員会ですか。担当であればまた産業経済委員会。

〔「委託契約についてで結構です」と呼ぶ者あり〕

○司会（木浦敏明） 委託契約全般についてでよろしいですか。それでは総務文教委員会よろしくお願いします。

○総務文教委員（佐藤栄一） 委託契約、確かに再委託は今のとこだめという形になっていると思っておりますし、本当に地域の中で一応我々としては、指定管理者の指定についてということで議決は議会ではさせていただいております。そんな中で今、少し変わってきたのは収益の中でも若干いろんな経費分はそこから出してもいいよというような話になってきていると私は思っているんですが、まだまだどの指定管理者もかなり狭い範囲のぎりぎりのところで動いてらっしゃるような感じがしています。ただ指定管理というのは市内の中でも沢山ありまして、公園の管理から始まって今杉野沢さんにみたいに利益が上がるというか、事業を起している指定管理といろいろな形があると思うんですが、これらにつきましても、ただ再委託を認めていますと、受けてそのまま横流しをしていくという、今度誰がこれを管理監督するのかという問題も出てくると私思います、この辺につきましてはきちっとルールを全体的にはっきりさしていかなければいけないと思いますし、今自身ルールがあるわけですので、それらを改めて検証してみても議会の仕事だと思いますので、その辺はまた検討させていただきたいと思います。

○司会（木浦敏明） 以上で意見交換会のほうを閉じたいと思いますが、ちょうど良い時間となりました。ここで、本日のですね議会報告会並びに意見交換会を終了させていただきたいと思います。

5. 閉会あいさつ

○司会（木浦敏明） 最後になりますが、閉会にあたり広報広聴委員会横尾委員長より御挨拶を申し上げたいと思います。よろしくお願いします。

○広報広聴委員長（横尾祐子） 皆さん本日は一日のお疲れの中、このように大勢の方においでいただきまして、大変ありがとうございます。15、16、17日と3日間、私たち議会報告会、意見交換会としてやってきたのですが、今日、妙高高原に上がって大勢の方に来ていただいて、とても良かったなと思っています。そして、素晴らしい意見をいただきました。そしてまた、時間を差し繰って新井から、関山から来ていただき本当にありがとうございました。皆さんからいただいた御意見は、今後の議会活動に生かしてまいりたいと思います。最後になりますが、今後とも議会に御理解いただきますようお願い申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

〔拍手〕

6. 閉会

○司会（木浦敏明） 以上を持ちまして、議会報告会、意見交換会を閉会いたします。本日は大変ありがとうございました。

〔「どうもありがとうございました」と呼ぶ者あり〕

○司会（木浦敏明） お帰りの際は、事故に十分お気をつけてお帰りください。なおですね、議会中継をですね、6月からYouTubeで行いますのでそちらをご覧ください。また、アンケートについてはぜひ皆さん御協力いただきまして、記入をいただきまして提出をお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

閉会 午後 8時24分